

ボーリング柱状図

調査名

ボーリングNO.

事業・工事名

シートNO.

ボーリング名		B-2(測点No.12+8/L2.5)		調査位置				北緯		36° 49' 47.6500"	
発注機関		栃木県日光土木事務所 河川砂防部		調査期間		2008-01-18 ~ 2008-01-21		東経		139° 42' 54.0100"	
調査業者名				主任技師				現場代理人		コア鑑定者	
孔口標高		388.05 m		角				方		地盤勾配	
総掘進長		9.00 m		度		0° 0.00°		鉛直		水平	
								使用機種		ハンマー	
								エンジン		ポンプ	

標尺	層高	深度	柱状図	土質区分	色	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位(m) 測定月日	標準貫入試験					原位置試験 深度 試験名および結果	試料採取 深度 試験番号	採取方法	室内試験	掘進月日
											深度	10cmごとの打撃回数	打撃回数	貫入量						
(m)	(m)	(m)	(m)								(m)	(m)	(m)	(m)						
				礫混じり砂質シルト (MS-G)	暗茶褐		硬い	河床堆積物 含水比下～中位 粘性下位 所々に径 10～40mmの礫混入 部分的に礫が多い部位あり 1.50m付近より礫の混入少ない			1.15 1.45	4 6	3 30	13 30	13					
	386.15	1.90	1.90	シルト (M)	暗褐		軟らかい	含水比下～中位 粘性下位 2.70m付近より砂分混入			2.15 2.50	2 15	1 20	3 35	3					
	385.25	0.90	2.80	砂 (S)	暗茶		中くらい	細～中砂 細粒土が多い 2.80m付近コア長50mm程度の粗石混入			3.15 3.45	4 4	4 5	13 30	13				01/18	
	384.80	0.65	3.45	粗石混じり砂礫 (GS)	暗茶褐～暗灰		非常に密な	孔壁の自立性やや低い 径 10～50mmの亜円・亜角礫主体 マトリックスは中～粗砂主体 所々にコア長50～70mm程度の粗石混入 3.80m付近コア長200mm程度の巨石混入 5.20m付近より粗石密集(コア長50～100mm程度) 孔壁の自立性やや低い			4.05 4.15	50		50 10	>50					
											5.05 5.15	50		50 10	>50					
	382.05	2.55	6.00	流紋岩 (Ry)				全体的にやや凝灰質を呈す コアは長柱状で200～400mm主体 部分的に50～100mm程度の短柱状 コアあり コアは比較的新鮮で希に弱風化し 灰褐色を帯びる部位あり 希に水平クラックがみられる クラック面は風化し暗褐色を呈す ダイヤモンドビットで掘削可能 コア採取率は100% RQDは60～80%(最大長500mm) 岩はC H クラスと判定	C H		6.00 6.01	50 1		50 1	>50				01/19	
					青灰						7.00 7.01	50 1		50 1	>50					
											8.00 8.00	50 0		50 0	>50					
	379.05	3.00	9.00								9.00 9.00	50 0		50 0	>50				01/21	